

Ⅲ 小学校における「柔軟な心」を育む実践

1 子供たちが活躍する時代に求められる資質・能力

今の小学生たちが社会で活躍する2030年ころは、情報技術の進化とグローバル化の進展等により、先を見通すことが難しい時代になることが予想される。このような時代を生きるためには、自分たちの力で時代を創っていくことが求められる。どのような社会を創るのか、どのようによりよいものにするのかという明確な目的をもち、答えのない課題に対して多様な他者と協働しながら納得解を粘り強く見いだす力が重要となる。考えをしっかりともち、同調圧力に流されることなく他者の考えをしっかりと傾聴し、合意形成を図って集団としての意思決定ができる資質・能力が求められる。

2 特別活動と学級活動

(1) 特別活動

特別活動は「なすことによって学ぶ」ことを方法原理としている教育活動である。様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題の解決を通して「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」ができる資質・能力の育成を目的としている。

(2) 学級活動

学級活動は、学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりする活動である。内容の「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」は、教師の指導の下、学級としての議題選定や話し合い、それに基づく実践を重視するものである。特に「ア 学級や学校における生活づくりへの参画」は、学級や学校での生活の充実のために、人間関係や生活上の問題について、協力して自主的、実践的に解決を目指す活動である。児童自身が課題を見だし、学級会で話し合い、合意形成を図り実践し、振り返ることが主な内容であり、自分と異なる意見や少数の意見も尊重し、安易に多数決で決定することなく、折り合いをつけて集団としての意見をまとめることの大切を理解したり、合意形成を図っていくための手順や方法を身に付けたりすることが期待される。

(3) 合意形成と意思決定

特別活動、特に学級活動について概観をしてきたように、子供たちが将来、よりよい社会を自分たちの力で創っていくときに必要となる資質・能力の基礎を培っていくために、学級活動を充実していくことが大切であると考えられる。特に多様な意見を尊重しつつ合意形成を図り、集団としての意思決定をする力を養っていくためには、児童が自分事の課題について話し合い、合意形成を図り、学級としての意思決定することを体験することが求められる。

以下に学級活動の実践事例を取り上げ、意思決定に向けての合意形成の図り方について具体的に見ていく。

3 実践事例

- (1) **実践校、学年（指導者）** 世田谷区立松沢小学校 第6学年（吉井貴彦教諭）
- (2) **日時** 令和3年10月13日（水）第5校時
- (3) **議題** 「仮装パーティー&文化祭をしよう」
- (4) **本時のねらい** 提案理由にある「日光林間学園に向けて取り組んだテーマである『か（感謝）な（仲間）で（伝統）』をより高め合いたい」ということを意識して話し合い、会全体の内容と工夫を決めることができる。
- (5) **活動の実際** （※ 実際の様子を知るためには話し合い活動全体の記録を掲載することが望ましいと考えるが、紙幅の関係で、時系列に沿って要所を抜粋して掲載する。）

① 事前の活動と指導

ア 議題の選定・決定：事前に学級の児童から出された8つの議題を、司会グループが「議題整理表」に記されている5つの議題選定の視点に基づいて選定し、学級全体で決定している。この過程で2つの議題を一つにまとめて本議題としている。選定しなかった議題については、どこでそれに対応するかを明確にして学級全体に伝えている。

イ 活動計画の作成：司会グループは、決まっていることを確認し、話し合うことを決め、学級会の進め方の計画を立てた。

ウ 学級活動シートの記入：各児童は「学級活動シート」に、今回の学級会の議題や提案理由、話し合いでの自分のめあて、自分の意見や理由を記入している。

② 話し合いの実際

ア 話し合いの大きな流れ

- ア) 話し合いのめあて、議題、提案理由、話し合いの時間、決まっていることの確認など
- イ) 話し合うこと ①「どんなお店を出すか」 ②「仲を深める工夫」
- ウ) 決まったことの発表、振り返りの発表、教師の話

イ 話し合いの実際（抜粋）

活動内容	活動の様子	発言の特徴
《前 略》 •めあての発表 (司会)	《前 略》 今日のめあては「か（感謝）な（仲間）で（伝統）」を意識して話し合うことです。	※話し合いのめあての明確化
•提案理由の説明 (提案者)	《中 略》 仮装パーティーの時期が近づいていて、仮装パーティーと文化祭をやって、林間学園で取組んだ「か・な・で」をより高めたいからです。	※提案理由の明確化
•決まっていること の確認 (司会)	決まっていることは、10月29日（金）5時間目に教室で、3密を避けマスクをして行うこと、仮装についてはお金を使わない、顔料やメイクは使わない、など5つの約束があります。	※決まっていることの明確化

<p>• 話し合うこと の確認(司会)</p>	<p>「話し合うこと①」はどんなお店を出すかということ、「話し合うこと②」は仲を深める工夫です。</p> <p>《中略》</p>	<p>※話し合うことの 明確化</p>
<p>• 児童の考えの 提示(司会グループ)</p>	<p>(事前に、出したい店についてのアンケートをとっており、それを各児童のタブレットへ配信し、3分程度、各児童はそれを確認した。同時に黒板にも同じ内容が示された。)</p> <p>《中略》</p>	<p>※意見の効率的な 把握</p>
<p>• 意見の整理に ついての教師 の提案</p>	<p>教師：「記念写真館」と同じ内容のものがたくさんあったので「撮影」にまとめませんか。</p> <p>児童：「記念写真館」が一番多いから、「記念写真館」にした方がいいと思います。</p> <p>教師：では「記念写真館」にしましょう。</p> <p>《中略》</p>	<p>※教師が整理の仕 方を提案。この 後、児童たちは 意見の整理を始 めた。</p>
<p>• 出したい店の 説明</p>	<p>A：去年の仮装パーティーでカジノをやって楽しかったし、夏祭りの時もカジノをやって盛り上がったからです。</p> <p>B：カジノはいろいろな種類があるので、一人一人の好みのものができると思います。</p> <p>教師：「か・な・で」の中の「仲間」に「個性を生かす」がありました。一人一人の得意なことを生かせるお店があるといいことを意識していた理由だと思います。</p> <p>《中略》</p>	<p>※理由の明確化</p>
<p>• 出したい店の 説明</p>	<p>B：カジノはいろいろな種類があるので、一人一人の好みのものができると思います。</p> <p>教師：「か・な・で」の中の「仲間」に「個性を生かす」がありました。一人一人の得意なことを生かせるお店があるといいことを意識していた理由だと思います。</p> <p>《中略》</p>	<p>※理由の明確化</p>
<p>• 出したい店の 説明</p>	<p>教師：「か・な・で」の中の「仲間」に「個性を生かす」がありました。一人一人の得意なことを生かせるお店があるといいことを意識していた理由だと思います。</p> <p>《中略》</p>	<p>※教師による価値 付け</p>
<p>• 各児童のやり たい店の確認</p>	<p>司会の指示で、児童は黒板に書いてあるやりたいものの所にネームプレートを貼りに行く。</p> <p>司会：ネームプレートが貼られていない店はどうしますか。</p> <p>C：一応下げておいて、あとでやりたい人が出たら入れたらいいと思います。</p> <p>D：カードゲーム系はカジノに入れたらいいと思います。</p> <p>司会：それに反対の人はいますか。(反対なし)</p>	<p>※出された意見の 尊重</p>
<p>• 出したい店の 説明</p>	<p>C：一応下げておいて、あとでやりたい人が出たら入れたらいいと思います。</p> <p>D：カードゲーム系はカジノに入れたらいいと思います。</p> <p>司会：それに反対の人はいますか。(反対なし)</p>	<p>※意見を合わせて 生かす考え</p>
<p>• 出したい店の 説明</p>	<p>司会：みんなの仲を一層深めるための工夫についての提案はありますか。</p> <p>《中略》</p>	<p>※話し合うことの 明確化</p>
<p>• 話し合うこと ②</p>	<p>司会：みんなの仲を一層深めるための工夫についての提案はありますか。</p> <p>《中略》</p>	<p>※話し合うことの 明確化</p>
<p>• 話し合うこと ②</p>	<p>E：クラスのいいところを集めたいと思います。そうすることで、クラスのことをより知ることができるからです。</p> <p>F：集めるというのは、誰かが大きな紙にポスターのように書くのですか。</p> <p>G：それは作る人が考えればいいと思います。</p> <p>H：友達のいいところを言うようにしたら、仲が深まると思います。</p>	<p>※方法の具体化に ついて質問</p>

	<p>I：Hさんの意見に似ているのですが、遊びの中で一人一人の長所を確認して、その人に合った仕事を決めていくと協力してできると 思います。</p> <p style="text-align: center;">《中略》</p> <p style="text-align: center;">（ 話し合いが佳境に入り、児童全員を話し合いに参加させたい場面 ） である。</p>	<p>※友達の意見を基 に考えた意見</p>
<p>• 教師の支援</p>	<p>教師：<u>姿勢を正そうか。学級活動シートを開いて、書いてきた自分の意見を確認してください。</u></p> <p>J：<u>ダンスパーティーについてです。お店を出すことだけを話し合っているけれど、パフォーマンスについても意見が出てきています。そこで、絵を描いて、その人の得意なことについて話す機会になったらいい</u>と思います。</p> <p>K：<u>地図を作ったら、会場のどこに何があるか分かりやすい</u>と思います。</p> <p>L：<u>思い出ムービーを撮ったらいい</u>と思います。林間学園に行けなかった人もいるし、<u>全員で思い出に残るものを作りたい</u>と思うからです。</p> <p>M：<u>地図の意見に足して、スタンプラリーをやったらいい</u>と思います。<u>前にスタンプラリーをやって楽しかったから</u>です。</p> <p style="text-align: center;">《中略》</p>	<p>※児童を話し合いに 集中させる支援</p> <p>※話し合いの視点を 広げることを提 案し、意見を述 べている。</p> <p>※よりよくするた めの提案</p> <p>※話し合いのめあて を考えた発言</p> <p>※友達の考えを発 展させ、理由を 明確にした意見</p>
<p>• 出された意見 の比べ合い</p>	<p>司会：<u>出された意見で賛成や反対があったら発言してください。</u></p> <p>O：<u>「地図を作る」「スタンプラリーをする」「ムービーを作る」は合わせてもいい</u>と思います。</p> <p>P：<u>地図でやる場所を示して、そこにスタンプを置けば地図とスタンプの両方できるし、紙の節約にもなるからいい</u>と思います。</p> <p>司会：<u>スタンプラリーと地図を合わせることに、何か意見はありますか。</u></p> <p>Q：<u>紙でやるのではなくて、タブレットをうまく使ってできたらいい</u>と思います。</p> <p>R：<u>タブレットを使うと速くできる</u>と思います。</p> <p>S：<u>タブレットを持ち歩くのは大変だ</u>と思います。</p> <p>T：<u>タブレットはすぐに見ることができるけれど、形に残る紙などの方がよい</u>と思います。</p> <p>司会：<u>他にありますか。</u></p>	<p>※出された意見を 生かす発言</p> <p>※Oの意見を具体 化する意見</p> <p>※考えることの焦 点化</p> <p>※意見を受け新し い方法を提案</p> <p>※メリット</p> <p>※デメリット</p> <p>※両者を比較して の意見の表明</p> <p>※意見が出尽くし たことの確認</p>
<p>• 決まったこと の発表</p>	<p>司会：<u>地図とスタンプラリーをタブレットでやるのか、紙でやるのか多数決をとってもいいですか。</u></p> <p>児童全員：<u>はい</u></p>	<p>※多数決実施の確 認</p>

	<p>司会：タブレットではなく紙の方がいいと思う人？</p> <p>司会グループ：19人</p> <p>司会：タブレットがいいと思う人？</p> <p>司会グループ：11人</p> <p>司会：<u>多数決の結果、紙で地図とスタンプラリーをやることになりました。</u></p> <p>ノート記録担当：<u>(各児童のタブレットに内容を送信)</u> タブレットの内容を確認してください。いいですか。</p>	<p>※結果の明確化</p> <p>※話合いの効率化の工夫</p>
<p>• 振り返りの発表</p>	<p>司会：今日の話合いでよかったと思う人は誰ですか。</p> <p>教師：今日、<u>まだ意見を発言していない人、発表してみませんか。</u></p> <p>U：司会の人^が注意してくれたので、スムーズに話合いが進みました。(拍手)</p> <p>V：〇〇さんの意見がいいなと思いました。今日の話合いの「仲間」を意識していたからです。(拍手)</p> <p>W：〇〇さんがいいと思いました。いつもなら一人でやることが多いのに、ちゃんとみんなのことを考えていたからです。(拍手)</p> <p>《中略》</p>	<p>※全員が話合いに参加できるようにする促し</p>
<p>• 教師の話</p>	<p>教師：司会グループの人たちはきちんと準備してくれました。司会グループを支えてくれたみんなよかったです。(拍手)「一人で店をやりたい」という意見に、〇〇さんが「一人でやりたいの?」と聞いて、それをみんなが認めていたことも素敵だと思いました。</p> <p>実施まで10日間あるので、協力し合って準備して素晴らしいものにしていきましょう。</p>	<p>※司会グループへの労いと他の児童への賞賛、話合い方の賞賛、実施に向けての期待</p>

4 実践事例の分析

(1) 事前の活動と指導

- 教師は日常的に、よりよい学級にするための課題を見いだすよう児童に働きかけ、議題を募集していた。
- 教師は「決まっていること」と「約束」を明確に示していた。
- 事前に教師の支援の下、司会グループは議題の選定、話合いのめあての明確化、活動計画の作成をしていた。
- 議題は学級の児童全員で決定し、「自分事」の課題となっていた。
- 児童全員が「学級活動シート」に議題や提案理由の他に、自分のめあてや意見とその理由を記入していた。

(2) 話合い中の児童の発言の分析

- 司会は常に話し合うことを明確にしており、他の児童の発言も焦点化されていた。
- 児童は理由を明確にして自分の意見を発表していた。

- 友達の意見をよく聴き考えていた。具体的には下記のような意見が見られた。
 - ・ 話合いの視点を広げようとする意見
 - ・ 友達の考えを発展させようとする意見
 - ・ 友達の考えを基に新しい考えを提案する意見
 - ・ 二つの意見を比較し、自分の考えを表明する意見
- 司会は意見が出尽くしたことを全員に確認した上で多数決をとり、結果を明確に示していた。

(3) 話合い中の教師の支援

- 児童から出された意見の整理の仕方を提案し、児童が活用できるようにしていた。
- 話合いのめあてと照らし合わせて児童の意見の価値付けを行っていた。
- 学級活動シートの内容を確認させるなどして児童を話合いに集中させていた。
- 司会グループへの労い、話合い方の賞賛、実施に向けての期待を述べ、児童の意欲の向上を図っていた。

5 考察

児童一人一人の意見が尊重され、決定事項について全児童が納得している姿を見ることができた。話合い活動を充実させ、児童が合意形成を図り集団としての意思決定をする経験を重ねていくことは、多様性を尊重する柔軟な心を育成することに結び付いていくと考える。

6 学校管理職への期待

児童が合意形成と集団としての意思決定の力を身に付けることができるようにするためには、学校全体で学級活動（話合い活動）の充実に取り組んでいくことが求められる。そのために、特に以下の4点を提言したい。

- (1) 学校経営の柱の一つに児童の話合い活動の充実を位置付ける。
- (2) 特別活動の全体計画についての全教師の理解を深めるとともに、各学級担任に児童の発達の段階に留意して全体計画を踏まえた学級活動の年間指導計画の作成を指導する。
- (3) 話合い活動の在り方や具体的な進め方、教師の支援の在り方など留意すべきことについて教師が学ぶことができる研修や、教師相互の授業参観を充実させる。
- (4) 管理職が話合い活動の授業観察を行い、適宜、指導・助言を行う。